

貯法 密封容器

承認指令書番号 農林水産省指令 14 生畜第 7189 号  
販売開始 2003年2月

使用前に必ず本書を読み、内容を理解したうえで使用してください。  
また、本書を必要ときに参照できるように大切に保管してください。

## 動物用医薬品

## リンコマイシン系抗菌薬

要指示医薬品 指定医薬品 使用基準

## リンコマイシン注100「フジタ」

## LINCOMYCIN INJ.100「FUJITA」

リンコマイシン(LCM)は、*Streptomyces lincolnensis var.lincolnensis* の産生する抗生物質で、1962年D.J.Masonらによって発見され、現存する各種抗生物質とは関連性のない、特殊な抗生物質です。

抗菌作用は、感受性菌に対し、蛋白の合成を阻止して静菌的に働き、グラム陽性球菌、嫌気性菌に強く作用します。また、豚赤痢の病原体である *Brachyspira hyodysenteriae* やマイコプラズマ性肺炎の原因菌である *Mycoplasma hyopneumoniae* に対しても強い抗菌力を示します。さらに抗菌力は、pHがアルカリ側のときに増強されます。

家兎を使用した試験において、筋肉内投与によりすばやく血中濃度が上がり、15分で最高濃度に達します。また、動物実験によると生体内における分布濃度は、腎、肺等に最も高く、次いで血液、脾、肝となり、筋肉組織、脳組織では低くなります。一方、胆汁中への移行量が大きいのも特徴です。

## 【成分及び分量】

本剤 1 mL 中

リンコマイシン塩酸塩水和物…………… 100 mg (力価)

## 【効能又は効果】

有効菌種

豚：本剤感受性のブラキスピラ・ハイオディセンテリー、  
マイコプラズマ・ハイオニューモニエ

適応症

豚：豚赤痢、豚マイコプラズマ性肺炎

## 【用法及び用量】

豚 豚赤痢

1日1回体重1kg当たり、リンコマイシンとして5～10mg(力価)を1～3日間筋肉内注射する。

豚マイコプラズマ性肺炎

1日1回体重1kg当たり、リンコマイシンとして5～10mg(力価)を1～3日間筋肉内注射する。

## 【使用上の注意】

(基本的事項)

## 1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。なお、用法・用量に定められた期間以内の投与であってもそれを反復する投与は避けること。
- ・本剤の使用に当たっては、治療上必要な最小限の期間の投与に止めること。
- ・本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物(豚)について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。

豚：食用に供するためにと殺する前4日間

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・本剤の外観又は内容物に異常が認められた場合は使用しないこと。
- ・本剤は他の薬剤と混合して使用しないこと。
- ・本剤を分割投与する場合は、速やかに使用すること。
- ・本剤は有効期間を設定してある動物用医薬品なので使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。
- ・注射器具は滅菌されたものを使用すること。
- ・注射針は必ず1頭ごとに取りかえること。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。
- ・本剤が誤って眼、鼻、口等に入ったときは、直ちに水で洗浄やうがい等を行い医師の診察を受けること。

(豚に関する注意)

- ・本剤は必ず筋肉内に使用し、注射時に注射針が血管あるいは臓器内に入っていないことを確認してから投与すること。
- ・本剤の投与によると思われる副作用もしくは過敏症状があらわれた場合には、投与を中止すること。
- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(専門的事項)

① 重要な基本的注意

- ・カンジダ感染症には使用しないこと。

② 副作用

- ・本剤の筋肉内注射により、まれに一時的な軟便がみられるとの報告がある。

【有効期間】

36 カ月

【包装】

100 mL × 1 本 (ガラスバイアル)

【製品情報お問い合わせ先】

フジタ製薬株式会社  
〒193-0942 東京都八王子市櫛田町1211  
電話 (042) 661-5528 (代)

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

製造販売元



**フジタ製薬株式会社**

東京都八王子市櫛田町1211番地1  
<http://www.fujita-pharm.co.jp>

**FUJITA PHARM**